

研究の情報公開の内容

2017年7月27日 ver.2.0

研究題目

インターネット依存を主とした新しい健康リスクに関する全国学校職員調査研究

研究の対象となる方

平成 27 年度：島根県内の全中学・高校に所属する学校職員 約 4500 人

平成 28 年度：無作為抽出による全国の中学校約 130 校に所属する中学校教員約 7 千人

平成 29 年度：無作為抽出による全国の高校約 110 校に所属する高校教員約 9 千人
学校単位で同意が得られていない場合には、その学校に属する教職員は除外する。

研究の目的・意義

本研究は、学校職員のインターネット依存による健康リスクと身体的・精神的健康状態との関連を明らかにすることを目的とした研究である。

学校職員は未成年者のロールモデルになる可能性が高いため、学校職員の身体的・精神的健康を阻害する要因の解明は、次世代の健康に密接に関係する。本研究課題の意義は、次世代への健康を見据えた上で、わが国の学校職員のインターネット依存の評価を行う点にある。大規模な職域を対象としたインターネット依存調査は、わが国で初の試みである。

研究の方法

1. 質問紙調査票において、以下の項目の情報を収集する。

基本属性：年代、性別、役職、勤務年数

健康に関する項目：主観的健康観、睡眠状態、頭痛の頻度と症状、便通の頻度、既往歴、1年以内の通院状況、疲労の頻度と程度

インターネット依存に関する項目：Internet Addiction Test (IAT)、インターネット依存自己評価スケール（成人用） K-スケール 15 項目版

他の依存性物質に関する項目：喫煙の頻度と量・依存の程度、飲酒の頻度と量・依存の程度

2. データ収集と管理

研究に必要なデータは次の手順で提出／収集する。

- 1) 大学から、対象学校に質問票を送付する。
- 2) 学校側で対象者（学校教職員）へ配布を行う。配布に際して、調査の実施の手引

きを各学校に配布し、それに従って、調査を実施する。

3) 対象者は質問票に記入する。

4) 個別回答への配慮として、回答した質問票は、定型封筒（ノリ付）に入れて封をしてから、とりまとめの先生に提出する。

5) とりまとめの先生は、提出された定型封筒（ノリ付）の封を開けず、そのまま回収し、大学に返送する。とりまとめの先生が個別回答を知り得ないような配慮とした。

6) 大学は、学校ごとに質問票を整理し、個々の回答に ID 番号を付与し管理する。

提出された質問紙は、大学で付与する ID 番号のみで識別することとし、島根大学医学部環境保健医学講座内の保管庫内に施錠して厳重に保管する。収集したデータは、外付けハードディスクに保存し、島根大学医学部環境保健医学講座内の保管庫内に施錠して厳重に保管する。外付けハードディスクにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限する。研究機関外部への持ち出しは行わない。

研究に関するデータ及び関連資料は研究の終了を報告してから少なくとも5年間保管する。

研究終了後、質問紙はシュレッダーを用いて裁断処分し、ハードディスク内のデータは消去する。

研究の期間

2017年7月8日～2019年3月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部環境保健医学講座が行います。

研究代表者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

島根大学医学部環境保健医学講座 神田秀幸

情報の利用停止

研究の概要を島根大学医学部環境保健医学講座のホームページに掲載し、研究が実施又は継続されることについて、学校単位の研究対象者全員が拒否できる機会を設けています。学校単位で同意の撤回を申し出た場合は、研究責任者は不利益を被ることがないように留意し対処します。研究責任者は、学術雑誌、学会等で既に公表されている場合を除き、収集した当該学校分のデータを破棄します。本研究は連結不可能匿名化とするため、個別の同意の撤回に対応できません。

連絡先（相談窓口）

この研究についてわからないこと、心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく下

記連絡先までお問い合わせください。

研究責任者：島根大学医学部環境保健医学講座 教授 神田 秀幸

連絡先：〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

島根大学医学部環境保健医学講座

電話: 0853-20-2164